

兵庫県のみ漁場環境情報 (西播海域 2号)

2021年10月22日発行
 兵庫県のみ研究所

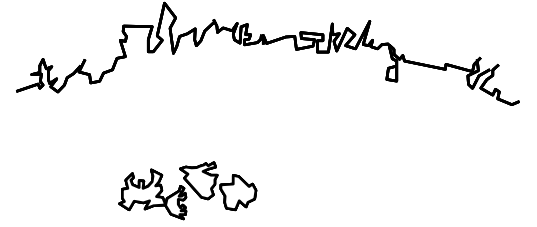
大型珪藻コシノディスカスは漁場によって発生量に大小ありますが、この海域全域において多い状況となっています。そのため窒素は地先漁場において $1 \mu\text{g at/L}$ 以下、沖合漁場では特異的に高い地点を除き、概ね $1 \mu\text{g at/L}$ 前後の低い値となっています。

(珪藻)

西播地先の大型珪藻コシノディスカス・ワイレシー細胞数は海水 1Lあたり 400~600細胞ですが、より小型のコシノディスカス・グラニーが多数(1500~2000細胞)見られます。

沖合漁場においては、コシノディスカス・ワイレシーが1000細胞程度、コシノディスカス・グラニーは散見される程度(200~300細胞)です。

水温図



		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	0.8	0.6	5.0	0.9
	リン	0.45	0.36	0.59	0.43
家島・坊勢	窒素	1.5	1.1	4.3	0.7
	リン	0.42	0.37	0.59	0.34

(10/12) (10/26)

栄養塩 (窒素) 図

2021年10月22日調査

